

2021.4 — 2022.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2021.4 — 2022.3
八戸ポータルミュージアムはっちの歩み

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 〇はっちについて | 1 |
| はっちのコンセプト・ミッション | 2 |
| 〇はっちの運営方針 | 3 |
| 【事業プラン つながりをデザインする】 | |
| まちぐみ事業 | 4 |
| 市民作家・はっちサポーター(ボランティアガイド) | 5 |
| はっちリレーショナル・プレスはちみつ | 5 |
| 放送スタジオ「びびすた♪」 | 6 |
| 課題解決型市民協働プロジェクト | 6 |
| こどもはっち(特定非営利活動法人はちのへ未来ネット) | 7 |
| 【事業プラン にぎわいをデザインする】 | |
| アーティスト・イン・レジデンス公募事業(AIR事業) | 8 |
| パフォーミングアーツ事業 | 9 |
| シーズンイベント事業 | 10 |
| はちのへ演劇祭(市民活動支援事業) | 12 |
| ストリート投げ銭ライブ(市民活動支援事業) | 13 |
| はっちがずっぱど南部弁(市民活動支援事業) | 13 |
| マチニワ賑わい創出事業 | 14 |
| マチニワ活用検討市民ワークショップ事業 | 15 |
| 貸館事業 | 16 |
| 【事業プラン くらしをデザインする】 | |
| 暮らし学アカデミー事業 | 18 |
| はちのへ手しごと展 | 19 |
| お祭りinはっち2021(八戸三社大祭連携事業) | 20 |
| えんぶりinはっち2022(えんぶり連携事業) | 20 |
| ライブラリ事業 | 21 |
| ものづくりスタジオ支援事業 | 22 |
| 〇2021年度 はっちの自主事業一覧 | 23 |
| 〇2021年度 はっちの年表 | 24 |

名称とシンボルマークがあらわすもの

公募から生まれた愛称「はっち」

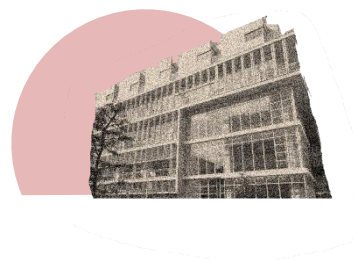
「はっち」という愛称は、公募から生まれました。八戸の「はち」から派生した「はっち」であり、市民にとって最も身近な言葉の一つでもあります。また、英語で卵の孵化や出入口などを意味する「hatch」にもちなんで名づけられました。さらに、着地型観光ならぬ、ここから市内各地に送り出す発地（はっち）型観光の意味もあります。

正式名称が示す施設の機能

正式名称「八戸ポータルミュージアム」は、来館者が観光などのために、実際の八戸に足を踏み出す玄関（入口＝ポータル）としての機能を担う施設であるとともに、市民の創造活動の拠点として、その本質に触れることができる博物館（＝ミュージアム）のような機能を担う施設であるという意味が込められています。

地域の特徴を表現したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平正義氏により、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸は南部地域の一戸から九戸までの数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の市日^{いちび}を表す三日町という町の中にあるなど、数字の地名が多い八戸の地域的な特徴を表しています。



フィールドミュージアムとポータルミュージアム

八戸を「屋根のない大きな博物館」と見立てたフィールドミュージアム八戸は、観光資源を、まち・渚・田園・祭・歴史文化・食彩・産業・物産の8つのテーマでわかりやすく紹介しています。「はっち」ではこれらの魅力をコンパクトに集め、実際の八戸へと誘う玄関としての役目を担います。さあ、「はっち」からそれぞれのミュージアムへでかけよう！

8へのこだわり

「8」を中心としたシンボルマークは、八戸が南部地域の「一戸」から「九戸」に囲まれている特徴を表しています。また、はっちでは、八角形の中庭、8個の展示屋台、からくり獅子舞仕掛時計の8つの頭など末広がり縁起のいい「8」にこだわり取り組みました。そして、1周年記念セレモニーのその日、なんと888,888人目の入館者を迎えたのです。

事業のコンセプト

「はっち」は地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を生み出していくところです。地域の資源を大事にすること、市民と協働すること、まちなかに回遊することを意識し、開館以来3つの事業を行っています。

会所場 づくり

誰でも気軽に立ち寄れる場、人が集いコミュニケーションが生まれる場、地域の文化に触れられる場をつくります。

- ・こどもはっち
- ・はっちひろば
- ・リビング
- ・カフェ、ショップ ほか

貸館 事業

創作活動をサポートする施設の貸し出しをします。

- ・シアター
- ・ギャラリー
- ・各種スタジオ
- ・レジデンス ほか

自主 事業

地域の資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造するため、4つの柱に基づいた事業を展開します。

- ・中心市街地賑わい創出事業
- ・文化芸術活動支援事業
- ・ものづくり支援事業
- ・観光振興・FM（フィールドミュージアム）アクセス事業

展示のコンセプト

八戸の見どころや魅力を、市民作家や市民学芸員の作品を通してわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う玄関口としての展示がコンセプトです。

また、「はっち」館内は展覧会や発表会、練習などで活動している元気な市民の姿や、読書や憩いの場としてゆったりとした時間を過ごす姿、八戸弁でおしゃべりをしている素のままの市民の姿も含め、まるごと八戸が感じられる施設です。市民にとっては、八戸の魅力を再認識し誇りに思う場、観光客にとっては八戸に来たら必ず寄ってみたい場となります。

建築のコンセプト

「はっち」は八角形の中庭を中心に、八戸の中心街の特徴である路地や横丁のような回廊、広場のような空間があります。八戸の魅力を発見しながら、各所で観覧や活動、ショッピングや飲食、休憩を楽しめる立体的なまちとして造られています。

はっちのミッション

「はっち」はまちを元気に、ひとを元気にします。市民とつくる事業、産業、観光振興のためのクリエイティブな事業、そして、そこに集まる人々のコミュニケーションがまちを動かす力を生み出していきます。

- 八戸のやる気をさらに引き出します。
- まちの連帯感をつくります。
- ほしいものがあるまちにします。
- 歩きたくなるまちにします。
- 八戸資源を再発見するきっかけをつくります。
- 八戸流の情報発信をします。
- 子どもからお年寄りまで共に育てあう場をつくります。
- 新しい価値と表現を生み出す場をつくります。

第3期八戸ポータルミュージアム中期運営方針 -未来を創ろう 2030-

八戸ポータルミュージアムは、2011年2月11日に開館してから10年、「はっち」の愛称で親しまれ、多くの市民に利用されると共に、歴史や文化などの地域資源を活かした新たな魅力と賑わいを生み出し、中心街活性化に努めてきました。

開館時に掲げた「新たな交流と創造の拠点として、賑わいの創出や、観光と地域文化の振興を図ることで、中心市街地と八戸市全体の活性化を目指す」というミッションを引き継ぎ、これまでの活動をベースに、次の10年間を見据えた中期的な運営方針として「八戸ポータルミュージアム第3期中期運営方針～未来を創ろう2030～」を策定いたしました。

10年後の私たちの街八戸が、希望に満ちた街であるように、理想とする8つの未来像を描き、その実現のためのさまざまな取り組みを通して、豊かな暮らしのある、しなやかな地域をつくることにチャレンジしていきます。

目指す「8つの未来」



相互に関連する「テーマ（主題）」と「スタイル（取り組み）」に基づき、戦略的に事業や施設運営に取り組むことで、「8つの未来」の実現を目指します。



まちぐみ事業

活動開始から8年目となる「まちぐみ」事業は、はっちと市内在住アーティスト山本耕一郎さんとのアートプロジェクト。八戸のまちなかに「なんか楽しそう」を創り出し、参加者の「やってみよう」をかたちにすることで、“まち”と関わるおもしろさや世代を超えた市民の交流を生み出してきた。2021年度は組員の自主活動も活発になり、コロナ禍でも各自できる限りの活動を実施。彼らの動きがさらなる新規組員の加入に繋がっている。

■まちぐみラボの運営

まちぐみ組員の活動拠点として、本八戸駅通りに「まちぐみラボ」を開設し運営している。組員が「ラボ人」としてラボの清掃などの維持管理補助や来客対応(まちぐみの説明や観光客等へのまち案内)などを担当し、市民との交流を行っている。また、新しい組員募集もラボとはっちのカウンターで随時行っており、ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録で誰でも加入できる(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)。2021年度の加入者数は4月から25名増の539名となった。

■まちぐみ presents はっち×南部菱刺し

2020年に引き続き、はっちの備品のパーティーションに南部菱刺しを施す市民参加型アートプロジェクトを実施。短時間で体験できるため、小さい子どもから観光客までさまざまな方が参加し、2020年から刺し始めたパーティーション1枚が完成(はっちインフォメーションに設置)。実際に参加するよりも興味深く見学している方が多く、この事業で初めて津軽の「こぎん刺し」ではなく、「南部菱刺し」という伝統工芸を知ったという方もおり、地元文化の普及としても効果的な事業であった。

・実施日：毎月第3日曜日に不定期開催
2021年5月16日、6月20日、7月18日、8月15日、
10月17日、11月21日、12月19日

※9月、1月、2月、3月は新型コロナウイルス感染防止に伴う休館等のため中止

・講師：山本耕一郎、まちぐみ組員有志
・参加者：各回8名程度

■縄文グッズ制作

2021年は市内縄文遺跡の世界遺産登録が決定したこともあり、本八戸駅前通りに「縄文のうわさ」ののぼりを制作して設置し、世界遺産登録によるまちの賑わい創出に寄与した。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、縄文関連イベントの開催は見送られたものの、組員が各自自宅で縄文グッズ(ひしざし土偶コースター)を製作し市内各所で販売できる仕組みを整えグッズ製作販売を実施。組員以外の市民やまちぐみラボ近隣の障がい者支援施設の方も製作方法を習いながら参加した。

・実施日：のぼり設置 2021年4月8日(木)
縄文グッズ製作 随時
・参加者：10名程度



■まちぐみ大学

組員きむさん企画のまちぐみ大学を2回開催。2021年から活動を開始した組員有志の活動で、ラボの2階にアトリエ&ギャラリーを開設したクリエイティ部のメンバーが、各々の活動をプレゼンテーションした。

・実施日：2021年11月21日(日)、12月5日(日)
・講師：11月21日 しばやまいぬ(版画家)、いっしー(コンクリートアート)、ひろし(クリエイティ部部长・作家)、
12月5日 もりん(畳屋)、へんじんちゃん(イラストレーター)、ゆかりん(菱刺し作家)、みさ&もりん
(New Moon アクセサリー&アートクリエイター)

・参加者：15名

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、実会場参加者は関係者に限定して開催。後日、まちぐみウェブサイト等オンラインで配信予定。

■まちぐみ展7/ものづくり体験マーケット

毎年1年間の活動内容を組員の綴るブログで振り返る「まちぐみ展」を開催しており、2021年度は例年の展示に加え、クリエイティ部によるものづくり体験を提供するブースの設置を企画した。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止に伴う休館のため一般公開は中止とし、組員限定の予約公開とした。

・実施日：2022年3月10日(木)～3月21日(月)



オープンスペースでの体験事業は伝統工芸の普及に一役買っている



まちぐみ大学は組員同士の学びや交流の場でもある



市民作家・はっちサポーター

はっちの観光展示の特徴の一つは、市民の手によるものが多いこと。1階のからくり獅子舞仕掛け時計を制作した高橋みのるさん(からくり工房工遊館)や、2階片町の朝市のミニチュアなどを手掛けたミニチュア工房ちびつ@さんの作品など館内の展示作品のほとんどを「市民作家」が手掛けている。運営に当たり、市民作家に加え大切な担い手となっている市民が「はっちサポーター」。ガイドが来館者の案内を行い、市民がボランティアで活躍している。



■八庵色紙展示

- ・実施日: 2021年4月~2022年3月(月4枚×12か月)
- ・協力: 杉本敦子

○2021杉本敦子 創の書 色紙展 PART X

デーリー文芸天位地位人位入選作品を展示。

- ・実施日: 2021年7月7日(水)~11日(日)
- ・入場者: 約800名
- ・後援: デーリー東北新聞社

■ボランティアガイド

はっちは、1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、ただ見ているだけでは気付けないポイントや魅力が多数あることから、毎日2名のボランティアガイドを置いている。館内にあるガイドに案内してもらおうと、また違ったはっちを楽しめる。館内案内や八戸の見どころの案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは10代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

- ・ガイド登録者数: 32名
- ・ガイド常駐時間: 9:00~17:00



はっちレシヨナル・プレス はちみつ

はっち開館前の2010年から発行している「はちみつ」。はっちのことはもちろん、中心街の様子や市内の新しい情報を発信している。2021年度は、38号ではマチニワでのマルシェの開催に合わせ(コロナの影響で中止)、八戸の農業人を特集。39号ではリニューアルオープンした八戸市美術館周辺エリアのおすすめスポットの紹介や AIR 公募プロジェクトを特集した。中心街のほか、市内外の公共施設や道の駅などにも配布。はちみつが、八戸やはっちに興味を持ってもらうためのツールの一つとなっている。



38号特集「八戸のおいしいを作り出す農業人」と
39号特集「AIR 公募プロジェクト」の紙面レイアウト



- ・発行部数: vol.38 14,000部 vol.39 16,000部
- ・仕様: B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先: 中心街約150か所、
その他市外約390か所に配布
- ・発行時期: 2021年9月(38号)、2022年3月(39号)



放送スタジオ「びびすた♪」

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」とワクワクするのもラジオならではの楽しみ方一つだが、はっちは1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむことができる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送スタジオをぜひ覗いてほしい。また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナー「はっちi(インフォメーション)」があり、イベントの実施者が自らラジオに出演し、宣伝・PRを行っている。

- ・年間出演者数: 約300名
- ・周波数: 76.5MHz
- ・放送日時: 毎週月～金
11:30～15:00
- ・協力: コミュニティラジオ局 BeFM



はっちでイベントを開催する主催者がゲストで出演し、楽しいトークを繰り広げる



課題解決型市民協働プロジェクト

市民の発想を生かして、市民との連携・協働による社会的な課題の解決に取り組み、市民が主体となってまちづくりの活性化を図ることを目的。地域の伝統・固有文化の継承、地域の経済や産業・中心街の活性化等の地域課題の解決に向けた市民からの事業提案を募集。選考により選ばれた事業について、はっちと協働で事業を実施するとともに、事業に要する経費の支援として補助金を交付した。



○募集状況

募集期間 2021年7月15日(木)～8月16日(月)
 応募件数 2件
 選考件数 2件

■Drop in 事業

「はっちのなかに社会に繋げる道を作る」。中学生や高校生の世代を中心に社会や仕事に繋がる学びのプログラム(プログラミングなど)の提供や独自のインターン・プロボノ制度を作り、参加する若者たちに仕事を依頼する事業。知識やスキルを身につけるとともに、「役割」を持つことで学校以外の居場所が見いだせない学生たちに社会との繋がりをつくることを目的としている。

■Café854×Cdm8(カフェ854かけるコードモエイト)事業

青森県立八戸高等支援学校の高校生が運営するCafé854と子育て中のママ等が連携し、商品開発や販路開拓を通して、子育て親子や若い世代の居場所創設を行い、中心街の活性化とキャリア教育、子育て中のママ等の社会参画につなげることを目的としている。



Drop in ポスター



こどもはっち

(特定非営利活動法人はちのへ未来ネット)

こどもはっちは県産材の木の温もりをたっぷり感じながら遊べる、子どもと大人の交流空間。毎週末におもちゃの工作や絵本の読み聞かせタイム、バス遠足や人形劇観賞、そして折々の季節行事など、たくさんの体験の機会を提供している。パパ・ママたちの出会いの場のサークル活動や育児・子育て相談事業を実施するとともに、各地域の子育て情報を発信するなど、八戸市の子育て支援の拠点施設としての大きな役割を担っている。全ての子どもたちが夢いっぱい健康やかに育つように、そして子どもを育てる世代の全ての人たちが楽しく豊かに子育てできるように、地域のさまざまな団体、機関、個人のみなさまからご協力いただきながら事業を行っている。

○転勤ママひろば(月1・2回、火曜日開催)

2021年4月20日、4月27日、5月18日、5月25日、
6月29日、7月6日、10月5日、10月19日、11月2日、
12月7日、2022年1月18日

○親子リズム体操(月1・2回、水曜日開催)

2021年4月7日、4月14日、5月12日、5月19日、
6月2日、6月16日、7月14日(どんぐりサークル合同開催)、
10月6日、10月20日、11月10日、11月17日、
2022年1月12日、1月19日
・特別企画じゅうなん体操:2021年7月28日、
8月4日、8月11日

○どんぐりサークル(月1・2回、水曜日開催)

2021年4月28日、5月26日、6月23日、
7月14日(親子リズム体操合同開催)、10月13日、
10月27日、11月24日、12月8日

○おたんじょうび会(毎月1回、木曜日開催)

2021年4月21日、4月15日、5月13日、6月10日、
7月15日、10月14日、11月11日、12月16日、
2022年1月13日

○にこにこ広場(月1・2回、金曜日開催)

2021年4月16日、4月30日、5月7日、5月21日、
6月11日、6月25日、7月9日、10月8日、10月22日、
11月5日、12月3日、12月17日、2022年1月14日

○はちのへおもちゃ病院(毎月1回、日曜日開催)

2021年4月18日、5月16日、6月13日、7月18日、
8月22日、10月31日、11月14日、12月12日、
2022年1月16日

○ひきこもり家族交流会(毎月1回、日曜日開催)

2021年4月18日、5月16日、6月13日、7月18日、
8月22日、11月14日、12月12日、2022年1月16日

○工作、おはなし会(毎週土曜日・日曜日開催)



○プレパパ・プレママひろば(月1・2回、日曜日開催)

2021年4月25日、5月9日、6月20日、7月11日、
11月28日、12月5日、2022年1月23日
・プレパパ・プレママ特別デー:2021年6月5日(土)

○ピカピカ1年生 入学おめでとう撮影会

2021年4月4日(日)、2022年3月27日(日)

○ピカピカ1年生 入学おめでとう写真展

2021年6月1日(火)~6日(日)

○オレンジデー

2021年6月13日(日)、12月12日(日)

○ふたごデー

2021年6月27日(日)、12月26日(日)

・ふたごさん+そっくり家族大集合!:2021年4月4日(日)

○おさがり掘り出し市

・春夏物!おさがり掘り出し市:2021年6月6日(日)
・秋冬物!おさがり掘り出し市:2021年10月3日(日)

○特別企画

・ゴールデンウィーク ファミリー運動会:
2021年5月5日(水・祝)
・バス遠足:2021年5月23日(日)
・ねじりんごキラキラバルーンアート展:
2021年7月21日(水)
・まるごとはっち はっち全館夏まつり:
2021年7月22日(木・祝)
・こどもはっち夏休み企画キラキラキューブをつくろう:
2021年8月8日(日)
・ハロウィンパーティー:2021年10月31日(日)
・人形劇団ひとみ座公演:2021年11月3日(水・祝)
・ものづくりスタジオ×こどもはっち
「ものスタマーケット in はっち」:
2021年11月20(土)~21日(日)
・クリスマス会:2021年12月19日(日)
・こどもはっちの小正月:2022年1月10日(月・祝)



アーティスト・イン・レジデンス 公募事業（AIR事業）

八戸の地域資源に焦点を当て、まちの新しい魅力を創り出すために、さまざまなアーティストの視点で地域の魅力を掘り起こし、市民がアートに触れ、体験する機会を増やし、新たな発見や驚き、感動を生み出すことを目的としている。2021年度公募では、40組の応募の中から2組を選考し、八戸の「市文化」と「えんぶり」をテーマに実施。リサーチやオープンアトリエなど市民とのコミュニケーションを交えながら、新たな八戸の魅力を発掘していった。



■ヨシダミナコ「八戸の市文化にふれる旅」

日本最大級の館鼻岸壁朝市をはじめ、市内各地に点在し、市民の生活に根付いている八戸の「市文化」を取材。撮影した作品を図鑑形式とした「市図鑑～八戸の市文化にふれる旅」を制作。成果発表については、新型コロナウイルス感染防止に伴う休館のため、2022年度に実施した。

○成果発表（作品展示）

市文化の取材から見てきたものをすくいあげ制作した「市図鑑」の展示のほか、滞在中に撮影した市の様子や八戸の風景、制作活動の様子などを併せて展示。

・実施日：2022年4月29日（金・祝）～5月8日（日）

○オープンアトリエ&エピソード、イラスト募集

市図鑑に掲載する市に関するエピソードや情報、八戸をイメージしたイラストを募集。直接市民の言葉で語られる市の話に耳を傾け、カラフルなイラストから八戸のイメージを膨らませた。

・実施日：2021年10月17日（日）、
11月20日（土）～21日（日）

・参加者：29名

■杉原信幸×中村綾花「えんぶりえぼし、ゑぶりすり」

烏帽子（えぼし）に関する大型作品や八戸の土地から着想を得た創作烏帽子を展示したほか、リサーチをもとにした即興的パフォーマンス&トークを企画。新型コロナウイルス感染防止に伴う休館のため、作品展示やパフォーマンス&トークは予約制での実施となった。作品制作で使用した着物は、市民のみなさん約35名（約200点）から提供いただいた。

・実施日：①作品展示：2022年3月9日（水）～13日（日）
②パフォーマンス&トーク：2022年3月13日（日）

・パフォーマンス協力：戸来元、福田上えんぶり組
・参加者：89名（予約制）

○オープンアトリエ&刺し子ワークショップ

作品制作の過程を公開しながら、烏帽子をモチーフとした大型作品の一部となる刺し子のワークショップを開催。

・実施日：2021年10月28日（木）～11月16日（火）

・参加者：約35名



お話ししながらおすすめの市や八戸の旬の食べ物などを聞き取り



八戸を感じられる言葉と写真で紡がれた「市図鑑」



はっちコートに約19mの烏帽子風作品が出現



えんぶり組の拍子に合わせた即興パフォーマンス



パフォーミングアーツ事業 「プロジェクト大山」ダンスプロジェクト

八戸で質の高い芸術鑑賞の機会を提供することで、地域の文化振興へと繋げることを目的としている。また、市民参加型作品として子どもたちに表現者として参加してもらうことで、自由な発想で体を動かすことへの喜びや表現することの楽しさを子どもたちに知ってもらうきっかけづくりとした。本格的な舞台空間で、緊張しながらも楽しみながらパフォーマンスをする子どもたちが印象的であった。

■身体表現ワークショップ

「踊ってみよう！コンテンポラリーダンス」

ダンス未経験の方々に、気軽にコンテンポラリーダンスを体験してもらうワークショップを実施。日々の生活の中にある身近な動作をダンスに取り込んでいく、プロジェクト大山のスタイルを真似しながらコンテンポラリーダンスを体験した。

- ・実施日：2021年6月2日（水）
- ・講師：プロジェクト大山 古家優里・長谷川風立子
- ・参加人数：9名
- ・料金：1,000円
- ・対象：中学生以上

■プロジェクト大山2021年公演「すばらしきあまいな世界」

○キッズパフォーマー事前ワークショップ

実際の舞台を経験してもらうことを目的に、公演のオープニングアクトとして地元小学生のパフォーマーを公募。舞台に立つために体をほぐしリラックスしながら、仲間同士でコミュニケーションを取る練習を行った。

- ・実施日：2021年6月3日（木）
- ・講師：プロジェクト大山 古家優里・長谷川風立子
- ・参加人数：11名

○本公演

公募した地元の小学生をオープニングアクトとして迎え 2018年初演の「すばらしきあまいな世界」を八戸版にブラッシュアップして再演。

- ・実施日：2021年6月5日（土）、6月6日（日）
- ・出演：プロジェクト大山、小学生キッズパフォーマー
- ・入場者：90名
- ・料金：[前売り]一般2,500円/学生：2,000円/
中学生以下：1,000円/親子ペア券：3,000円
[当日]一般：3,000円



身体表現ワークショップには10代から70代まで幅広い世代が参加



初めましてのお友達と体を動かしてコミュニケーション



コミカルでダイナミックな動きが特徴的なダンス



音響照明のある本格的な舞台で子どもたちも生き生きとダンス



シーズンイベント事業

年間を通じて、季節に合わせたワークショップ、展示、館内装飾等の企画を開催することで季節感を演出し、中心街の賑わいを創出する。2020年度までは、ゴールデンウィーク・七夕・クリスマス・正月と年4回の企画を実施してきたが、2021年度より小規模な企画を月に複数回実施するように変更し、日常的にイベントが行われているイメージを定着させるとともに、あらゆる世代の趣向の市民に、はっちへ興味を持ってもらうことを目的とする。

〈4月〉

■お花見 in はっち

・実施日：2021年4月24日(土)～5月5日(水・祝)

○春のお花の写真展

公募した「春のお花の写真」の展示。(展示数：22作品)

○桜色デコレーション

「春のお花の写真展」の空間をペーパーフラワーで装飾。

○みんなで花を咲かせましょう

市民が桜(フェルトボール)を作り、木の枝へ飾り付けをした。

○はっち探検!

館内展示を巡るクイズに参加し、全問正解者は景品が当たるくじに挑戦。(参加者：72名)

○天まで鯉のぼり

はっちコート内に鯉のぼりを展示し、はっちコートを解放。

〈5月〉

■母の日のプレゼントを作る

○羊毛フェルトのブローチづくり

羊毛フェルトでブローチを作成。

・実施日：2021年5月2日(日)

・実施者：ポエジア

・参加者：13名

・料金：500円

○刺繍ワークショップ

刺繍布にネコとお花を刺繍(刺繍枠のまま飾ることも可能)。

・実施日：2021年5月2日(日)

・実施者：negnowa

・参加者：6名

・料金：1,000円(刺繍枠・刺繍布・刺繍針付)

○植木鉢ペイントワークショップ

植木鉢を水性ペンキで装飾。植物の苗を入れてプレゼントに。

・実施日：2021年5月2日(日)

・実施者：八戸ペイント

・参加者：16名

・料金：500円

○ヘルシーケーキをつくってみましょう

玄米ケーキに豆腐クリームと苺、メッセージを書いたクッキーをデコレーション。

・実施日：2021年5月3日(月・祝)

・実施者：very berry+

・参加者：4組

・料金：1,500円



〈6月〉

■はっちコート アンブレラスカイ

はっちコートにビニール傘を展示。

・実施日：2021年6月1日(火)～6月30日(水)

■マーブリングでDECO グラスをつくろう

ガラスに好きな色を写し取るワークショップを実施。

・実施日：2021年6月13日(日)

・実施者：書とアートの工房 くるみのひろば

・参加者：8組(15名)

・料金：500円

〈7月〉

■はっちの七夕

○天の川イルミネーション

七夕飾りと天の川をイメージしたイルミネーションで装飾。

・実施日：2021年7月1日(木)～15日(木)

○たんざくコーナー

館内に6本の竹を設置。短冊とペンを用意し、来館者が願いを込めた短冊を笹に結んで展示。

・実施日：2021年7月1日(木)～18日(日)

○七夕飾り展示

例年七夕祭りで使用している七夕飾りを館内に展示。2年連続の七夕祭りの中止をうけて、少しでも七夕気分を味わえるように実施。

・実施日：2021年7月1日(木)～18日(日)

○風鈴ハーバリウムワークショップ

風鈴型のハーバリウムを作るワークショップを実施。

・実施日：2021年7月18日(日)

・実施者：箱庭 Ayu

・参加者：16名

・料金：1,200円

〈8月〉

■3days 真夏の昼の夢

・実施日：2021年8月13日(金)～15日(日)

○怪談噺

日本の夏の風物詩である怪談噺を朗読。

・実施者：JAPAN よみきかせ協会 櫻井潤子

・参加者：68名(3日間合計)

○読書サロン

特設でギャラリー1に読書コーナーを設置し、自由にくつろぎながら読書できる空間を創出。

・参加者：約70名(3日間合計)

○ワンマン LIVE

夏にちなんだ楽曲をテーマに、さまざまなジャンルで夏を演出。

・実施者:

「和歌の美学」和歌へ誘う会・黄綿溪湖ほか

「ピアノ de 夏」ピアニスト・豊嶋裕子

「響きの共鳴」生田流青森県支部松の実會筆・鈴木操良慈

・参加者: 約70名(3日間)

〈9月〉

■秋のフォトスポット

市民参加型でフォトスポットを制作・実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止に伴う休館のため中止。市民参加とはせず、秋の雰囲気味わえるフォトスポットを展示という形で10月に実施。

・実施日: 2021年10月1日(金)~31日(日)

〈10月〉

■日本文化を楽しむ日

・実施日: 2021年10月17日(日)

○ステージイベント 神無月舞台

4団体の流派による日本舞踊。秋にちなんだ演目を披露。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、入場制限を実施。

・出演者: 午前 直派分家若柳流 柳永会、水木流 優吉会

午後 花柳流 葉昌栄会、日本舞踊と邦楽 藤清會

・参加者: 各回40名程度

○そば打ち体験

そば打ち体験を実施。

・講師: 青森蕎麦友会

・参加者: 13名

・料金: 1,000円

○神無月・おとなの手習い

筆ペンで自分の名前を書く講習会を実施。

・講師: 書とアートの工房 くるみのひろば

・参加者: 7名

・料金: 1,000円

○水引細工のアクセサリ作り

水引細工のモチーフを作り、アクセサリに仕上げた。

・講師: 長塚佳子

・参加者: 10名

・料金: 1,000円

〈11月〉

■ステンドグラスワークショップ

クリスマスツリーや天使などのステンドグラスサンキャッチャーやランプを作成。

・実施日: 2021年11月23日(日)

・講師: Stainedglass~komado~

・参加者: 12名

・料金: 800円~3,200円

〈12月〉

■アトリウムコンサート~冬の贈り物

バロック音楽を中心に楽器それぞれの独奏も盛り込んだコンサート。

・実施日: 2021年12月18日(土)

・出演: 横田麗子(チェンバロ)、大久保美里(チェロ)

・入場者: 約90名

■Tochico さんに教わる極上ミニケーキと紅茶時間

紅茶のおいしい淹れ方と、クロテッドクリームのお話。

・実施日: 2021年12月12日(日)

・講師: tea&sweets Tochico🍵 堀江裕里子

・参加者: 16名

・料金: 1,500円(お土産キットつき)

■根菜たっぷり! 冬に食べたい郷土料理

煮しめ、人参こいり、すき昆布煮の作り方のデモンストレーション。

・実施日: 2021年12月19日(日)

・講師: 昭和浪漫亭 赤坂美千子

・参加者: 16名

・料金: 800円(お土産つき)

■クリスマスライトアップ

はっちの中庭「はっちコート」をキャンドルとイルミネーションで装飾。また、はっち外壁のライトアップやクリスマスツリーでクリスマスの雰囲気を演出。

・実施日: 2021年12月1日(水)~12月25日(土)

〈1月〉

■はっちのお正月2022

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示のみ実施した。

○新春書初めの展示&書道パフォーマンス動画放映

・実施日: 2022年1月2日(日)~7日(金)

・制作: 八戸東高校書道部、八戸高校書道部

○ハイカラフラワー展

お正月らしいフラワーオブジェの展示。

・実施日: 2022年1月2日(日)~7日(金)

・制作: お花の陽光園

○八戸南部裂織デコレーション!

南部裂織合同作品を展示。

・実施日: 2022年1月2日(日)~15日(土)

・制作: 工房「澄」

○千支クイズ

千支に関するクイズに挑戦し、正解者の中から抽選で8名に裂織小物をプレゼント。

・実施日: 2022年1月2日(日)~9日(日)

・応募数: 58枚(うち正解数 34枚)

・協力: 工房「澄」

○はっちみくじ

店内テナントの商品や割引券があたる運だめし「くじ」の実施。

・実施日: 2022年1月2日(日)~3日(月)

・参加数: 410名

・協力: 館内テナント

〈2月〉

■わが家の猫自慢

新型コロナウイルス感染防止に伴う休館のため中止。

〈3月〉

■アロマワックスサッシュワークショップ

アロマの香りのサッシュを作成。

・実施日: 2022年3月27日(日)

・講師: Bonne Journée

・参加者: 5名

・料金: 500円~1,200円



母の日のプレゼントとして植木鉢をペイント



春のお花の写真をデコレーション



天の川をイメージした展示を実施



夏にちなんだ楽曲を箏で演奏



チェンバロとチェロの生演奏



はっち神社で新年最初の運試し



市民活動支援事業 はちのへ演劇祭

2012年に八戸の演劇界を盛り上げようと始まった「はちのへ演劇祭」は、2021年で10年目を迎え、幕を下ろした。2021年は市内外で活動している団体・個人による短編4作品と超短編6作品から2作品ずつを組み合わせて上映し、チケットは完売という盛況ぶりであった。これまでを振り返る回想録展示も実施。10年の間には、はちのへ演劇祭をきっかけに誕生した劇団もあり、「八戸の演劇界を盛り上げる」という目的を達成することができた。



■はちのへ演劇祭回想録

10年の足跡をたどる回顧録展を実施。ポスター・写真・パンフレット展示のほか、ダイジェスト映像を放映。

- ・実施日：2021年12月15日(水)～19日(日)
- ・実施：はちのへ演劇祭実行委員会

■第十回はちのへ演劇祭 ～十年目のどっとはらい～

公演は市内外で活動している団体・個人による短編4作品と超短編6作品から2作品ずつを組み合わせて上映。

- ・実施日：2021年12月17日(金)～19日(日)
- ・実施：はちのへ演劇祭実行委員会
- ・出演：柗谷伸夫・江刺家佐智子・高坂大誠・志村沙都美・田中稔・外館暢子・シマザキアヤノ・野沢亜由美・安達良春・加藤健太郎・田中勉・佐々木美怜・木村壘生・沼山華子・柏井容子・内城和樹
- ・入場者：307名(6公演合計)
- ・料金：(前売)一般1,000円・大学生以下500円
(当日)一般1,500円・大学生以下700円



過去のパンフレットを手にとって見られる展示とした



第一回はちのへ演劇祭をきっかけに誕生した劇団『まぐねっと.com』



市民活動支援事業 ストリート投げ銭ライブ

市民アーティストの活動発表の場を提供し、市民の文化芸術の鑑賞の場となっているストリート投げ銭ライブは2021年度で7年目。月2回水曜日の夜にはっちひろばで開催。2021年度は音楽に限らず、古典・現代音楽をはじめ、海外ダンスやアニメ・コスプレなど多岐にわたるパフォーマンスを多くの市民が堪能した。来場者が自分の気持ちを「投げ銭」で表すスタイルは、出演者にダイレクトに反応が伝わるステージとなっている。



■ストリート投げ銭ライブ in はっち

- ・実施日：2021年5月～2022年3月(年間20回)
- ・入場者数：約600名(合計年20回)
- ・出演者：5月12日 pacchi／5月19日 ニコニコ／6月16日 古屋敷裕大／6月23日 MCS ナホクフラダンス／7月14日 ストロベリームーン・sugar & spice／7月21日 yukiko & ponta／8月18日 rainy day／8月25日 厨二病ナイト／10月20日 take & miku／10月27日 デュオピアチエーレ／11月24日 the beat wave／12月15日 memory's／12月22日 無弦／1月19日 ケビンメッツ／3月16日* 子ノ口おとめ・愛野ゆりな／3月23日 てる／3月30日 joe & 拓
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン配信のみ。



市民活動支援事業 はっちがずっぱど南部弁

郷土史家・故 正部家種康さんの命日(2012年12月6日)を南部弁の日と定め、当南部弁地域で育まれてきた言語である南部弁を後世まで使い続け、伝えるための機会を創出。青森県南部地域で育まれた南部弁の魅力を再発見し、後世に残す取り組みとして実施している。2日間に分け、1日目(第1章)では聞き比べやオンラインサミットで各地域の方言に触れ、2日目(第2章)ではこれまでの「南部弁の日」の名場面を振り返りながら楽しく、おもしろく南部弁に親しんだ。



■第9回南部弁の日 はっちがずっぱど南部弁

～うん、これアよごあんすナ～

- ・実施日：第1章 2021年12月4日(土)
- 第2章 2021年12月5日(日)

○第1章 榎谷伸夫氏プロデュース

「南部弁さみっと in 八戸2021」

①第1部 「たくさんのお話を楽しみましょう」

青森県南部弁・津軽弁、岩手県南部弁の語り部が一堂に会し、各地の方言による昔コ(昔話)や方言の聞き比べを楽しんだ。

- ・出演：八戸童話会(榎谷伸夫・関下齊)、南部昔コキャラバン隊、八戸・津軽・種市の語り部、漁火の会(釜石)
- ・参加者：50名
- ・協力：弘前学院大学、岩手大学

②第2部 「南部弁と出雲弁さみっと

～方言でつながる青森と島根～

島根県の会場とリモートで繋ぎ、南部弁と出雲弁の言い回しや発音の違いや共通点をご当地自慢、言葉比べ、昔コ(昔話)で楽しみ見識を深めた。

- ・出演：八戸の語り部、出雲の語り部
- ・参加者：46名

○第2章 十日市秀悦と南部弁大好きながまっこ

「コロナなんてへっくれ！総集編！！」

十日市秀悦さんが南部人をはっちに集合させ、お気に入りの南部弁の紹介や、これまでの「南部弁の日」全8回の名場面を振り返るバラエティトークショーを実施。

- ・出演：十日市秀悦、瀬川さとし、大地球、正部家光彦、中島美華、山田夢子、あどばる～ん、古屋敷裕大、動画出演のながまっこ
- ・参加者：97名(2公演合計)



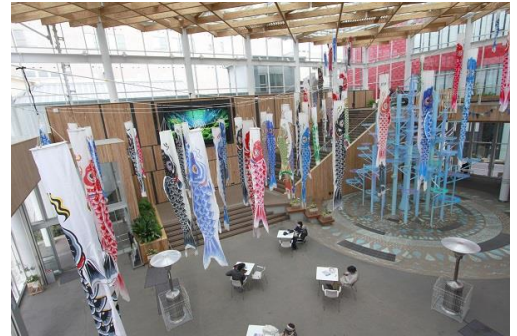
マチニワ賑わい創出事業

こいのぼりやカラフルな傘の展示、クリスマスデコレーションなど季節を感じるものや、大道芸フェスティバルなど中心街へ賑わいを生むものまで、マチニワに何度でも訪れたくなる、賑わいと憩いの場としてさまざまな企画を実施。例年開催している「ダンボール迷路&積み木であそぼ!」では、新たにマリンバやピアノ、声楽などの生演奏を同時開催。訪れた人と音楽との偶然の出会いを演出し、マチニワ内で自由に過ごしながらか音楽を楽しむ雰囲気をつくりだした。



■眠っているこいのぼりに光を!

市民のみなさまの寄付で集まったこいのぼりを展示。風にそよぐこいのぼりを写真に収める姿が目立った。
・実施日:2021年4月17日(土)~5月5日(水・祝)



風にそよそよ揺らめくこいのぼり

■ダンボール迷路&積み木であそぼ!

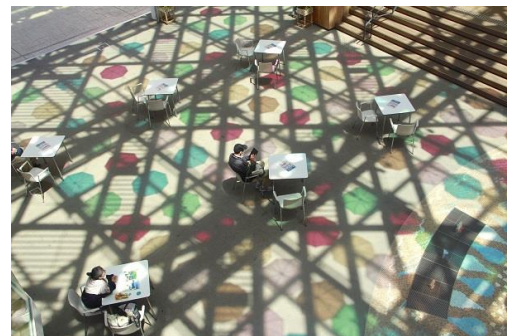
ダンボール迷路と積み木3,000ピース、人工芝を設置し、誰でも気軽に立ち寄り遊べる空間として実施。11月には特別編としてマリンバ演奏やピアノ演奏、声楽などを実施し、生演奏がある空間を演出。

・実施日:2021年5月5日(水・祝)、6月13日(日)、7月4日(日)

・特別実施日:

①2021年11月14日(日)マリンバ奏者がやってくる!

②2021年11月23日(火・祝)ミニ音楽隊が来るよ!



床に落ちるカラフルな影に笑顔がこぼれる

■マチニワ アンプレラスカイ

梅雨の時期を楽しく過ごしてもらえよう、カラフルな傘120本をマチニワの天井に展示。そこから落ちるカラフルな影もマチニワの床を彩った。

・実施日:2021年6月1日(火)~7月14日(水)

■マチニワ大道芸フェスティバル2021

全国で活躍する大道芸パフォーマーの技を鑑賞したほか、会場を脚長ピエロが和ませ、子どもから大人まで来場し終始和やかな雰囲気となった。

・実施日:2021年6月19日(土)~20日(日)

・出演:Monta、華千代、紙磨呂、チャタ



プロの大道芸の技に驚きの拍手が起こる

■マチニワのクリスマス2021

トナカイとソリのフォトスポット、バルーンやジョーゼットなどでマチニワ全体をクリスマスデコレーションしたほか、市内の幼稚園から高校生までが歌うクリスマスソングを放映しクリスマスの雰囲気を出した。

・実施日:2021年12月21日(火)~25日(土)

※水の樹バルーンデコレーション、クリスマスソング放映は12月1日(水)から。

・出演:イメルダ幼稚園、八戸市立根城中学校合唱部、青森県立八戸東高等学校音楽部、八戸聖ウルスラ学院音楽科



いのるんといかすきんズファミリーが新成人をお祝い!

■成人の記念に写真を撮ろう

成人式に合わせて、いかずきんズといのるんをモチーフとしたバルーンオブジェで新成人へのお祝いフオスポットや、自由に撮影で使えるバルーン小物も設置。

- ・実施日：①2021年12月26日(日)
②2022年1月8日(土)～10日(月・祝)
- ・バルーンアート協力：合同会社 sheep-balloon

■鬼はマチニワ！マチニワの節分2022

節分の期間に鬼の南部凧フオスポットや市民の方に募集した鬼の絵・塗り絵展示、レクリエーションなどを予定していたが、新型コロナウイルス感染防止に伴うマチニワ休館のため、レクリエーションの開催を中止。再開後の3月に、はっちひろばにて南部凧絵や鬼の絵・塗り絵の展示のみ実施。

- ・実施日：2022年3月22日(火)～31日(木)
- ・協力：佐々木良市(南部凧絵制作)

■マチニワピアノ

2019年12月より、ピアノをマチニワ2階に設置。ピアノの横には、利用者同士の交流ノート「マチニワピアノート」も置いてあり、2022年3月時点で11冊目となった。県内でノートが設置されているのはマチニワだけで、演奏者への感想などが書かれており、ノートを介して市民同士の交流も生まれている。

- ・利用時間：9:00～21:00

※新型コロナウイルス感染防止に伴う休館期間および、青森県の新型コロナウイルス感染症まん延防止重点措置期間は利用開放を休止。



迫力の鬼絵と個性溢れる塗り絵が並ぶ



自由に弾くことができるピアノと交流ノート

にぎわいをデザインする マチニワ活用検討 市民ワークショップ事業

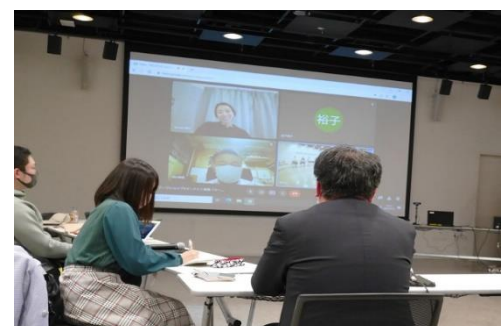
多様な世代や多彩な分野の方々からの意見・提案を、マチニワの活用・運営に活かすことを目的とした市民ワークショップを実施。2021年度で10回目となる「マチニワ活用市民ワークショップ」は、新たにスタートする「マーケット」事業と関連づけ、マチニワをはじめとする広場を活用したマーケットについて考えた。

■マチニワワークショップ×マーケット事業

「マーケットをはじめよう」

コロナ禍の中でも開催できるよう、オンライン参加と現地参加とを組み合わせたハイブリッド型で、講師のお二人もオンラインで登壇。参加動機や課題について話し合いながら、マチニワをはじめとする広場を活用した八戸の「マーケット＝市」文化について考えた。

- ・実施日：2022年3月18日(金)
- ・講師：鈴木美央(O+Architecture 代表)
山下裕子(全国まちなか広場研究会 主宰)
- ・参加者：9名



講師と参加者とで積極的に対話を重ねた



貸館事業

市民のみなさんの活動・交流の場となっている貸館事業。市民がはっちを利用して、さまざまな催し物を開催しており、毎年の恒例のイベントもある。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを完備しており、講演会・作品展示などに利用されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備され、ライブ・演劇などに利用されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。(37㎡)



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。(44㎡)





3F 和のスタジオ・八庵(はちあん)

炉を備えた32畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせた利用も可能。お茶席・日本舞踊のお稽古・展示会などに利用されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習などに利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器をはじめ、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映せるカメラとモニターも設置。



5F 共同スタジオ

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどに利用されている。



5F レジデンス

約42㎡の多目的スペース。アーティストが滞在していないときは、少人数の会議・セミナー、趣味サークルなどに利用されている。

○館内の利用状況 (2021年4月～2022年3月)

| スペース | 稼働率※ |
|--------|-------|
| はっちひろば | 53.6% |
| シアター1 | 56.1% |
| シアター2 | 50.3% |
| ギャラリー1 | 69.8% |
| ギャラリー2 | 46.3% |
| ギャラリー3 | 40.9% |
| 和のスタジオ | 36.0% |
| 音のスタジオ | 81.5% |
| 食のスタジオ | 13.2% |
| 共同スタジオ | 88.2% |
| レジデンス | 76.5% |

※新型コロナウイルス感染防止に伴い、2021年9月1日～9月30日、2022年1月26日～3月21日は臨時休館。

※4時間以下の利用を0.5日、4時間を超える利用を1日として換算
※はっちひろば、ギャラリー1は2021年9月1日～30日まで貸出なし





暮らし学アカデミー事業

暮らしに身近な事柄について学び、その体験や学びを通して新たな価値観を発見することで、暮らしをより生き生きと豊かにすることを目的としたアカデミーを2021年度から開始。2021年度は3つのテーマ(楽しむおうちゴト、アウトドアのココロエ、人と〇〇と地球)を設け、定期的に基幹講座を実施したほか、大人に教えてみたいことのある小学生から高校生を募集し、講師となってもらった特別企画も実施。(9月と2月は新型コロナウイルス感染防止に伴う休館のため中止。)

■整理収納基礎講座(楽しむおうちゴト)

心地よいお家づくりを目指すため、整理収納アドバイザーから家の片付けの基礎について学んだ。

- ・実施日:2021年5月9日(日)
- ・講師:長沖みのり
- ・参加者:29名

■本気のえんぶり人形嚙(人と〇〇と地球)

人形作りのきっかけや苦労話、こだわりや質問など、人形作りについて座談会形式で深掘りし、人形を見ながらのギャラリートークを実施。

- ・実施日:2021年6月9日(水)
- ・講師:下崎雅之
- ・参加者:19名

■アウトドアデビューをしよう!(アウトドアのココロエ)

アウトドア初心者向けのマナーや基礎知識を学び、テント張り体験や、ナイフで木を削りファイヤースターターで着火する体験を実施。

- ・実施日:2021年8月9日(月・振)
- ・講師:亀橋陽平(グリーンハウス八戸店)
- ・参加者:8名
- ・料金:2,000円

■キャンプ You Tuber いずみさんと、キャンプの極意を語る!(アウトドアのココロエ)

八戸在住のキャンプ YouTuber いずみさんに、八戸近郊のキャンプ場情報やキャンプの極意、キャンプデビューしたくなるお話を伺った。

- ・実施日:2021年10月3日(日)
- ・講師:いずみ(いずみキャンプチャンネル)
- ・参加者:30名

■プロが伝授!ラク家事お掃除テクニック(楽しむおうちゴト)

家庭にある洗剤の使い分けや汚れ別の対処法など、取り入れやすいグッズを使ったお掃除の知識・裏ワザを、実演を交えて学んだ。

- ・実施日:2021年11月28日(日)
- ・講師:今美由紀(八戸液化ガス株式会社 はちえきeレディ)
- ・参加者:15名



■ライフスタイルから選ぶインテリア(楽しむおうちゴト)

居心地の良い空間・おしゃれな部屋を作り出すために住まいやインテリアを見直すキッカケをオフィスデザインや講師の自宅を参考に学んだ。

- ・実施日:2021年12月18日(土)
- ・講師:柴田一則(株式会社 Technol 取締役 執行役員)
- ・参加者:25名

■メディカルハーブでリラックス

メディカルハーブの主な作用について学び、オリジナルハーブティのブレンド方法や淹れ方を体験した。

- ・実施日:2022年1月23日(日)
- ・講師:大島望(PALETTE ハンドメイドとハーブのお店)
- ・参加者:9名
- ・料金:500円

■【特別企画「大人に教えてみたいこと」】

自分の好きなことや特技など、大人に教えてみたいことがある小学生から高校生の子どもを公募し、大人に授業をする特別企画。

- ①「JOMON is FUN !」
歴史の勉強ではない JOMON の楽しさを教える。
・実施日:2021年10月9日(土)
・講師:杉本よし埜(八戸市立北稜中学校2年生)
・参加者:23名
- ②「数学のおもしろいところ」
数学的な考え方や数字を使ったゲームの法則など、数学のおもしろい部分を教える。
・実施日:2022年3月20日(日)
・講師:小瀬川音(青森県立八戸高等学校3年生)
・参加者:9名



縄文について熱く教える中学2年生の杉本よし埜さん



はちのへ手しごと展

～伝統の技をつむぐひとたち～

2021年度で2回目の開催。2020年度はワークショップ・物販ブース中心の催事だったが、八戸に受け継がれる伝統工芸について、改めてその全容を把握し、つくり手たちの技と創作活動を紹介する展覧会形式として実施。作品・仕事場・こだわりを取材し、製作にかける熱意といった「匠」たりうるひとの魅力や価値を紹介する展覧会により、伝統工芸への関心を喚起するとともに、時節柄市民のみならず県外者にも八戸ならではの文化を紹介できる機会となった。

■はちのへ手しごと展～伝統の技をつむぐひとたち～

・実施日：2022年1月8日(土)～10日(月・祝)

・入場者：840名(3日間合計)

〈展覧会〉

○八戸の伝統工芸品紹介

八戸市の7つの伝統工芸品をパネルで紹介。

(八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、南部花形組子、えんぶり烏帽子、南部総桐箆筍)

○八戸の伝統工芸作家紹介

個人15名、3団体を取材。パネルと作品で「つくり手」を紹介。

・協力：渡邊真樹(八戸焼・昭山窯・渡辺陶房)、井上澄子(八戸南部裂織工房「澄」)、川原和子(ており工房みちのく)、小野百子(百彩工房)、天羽やよい、工藤まさ(南部菱刺し西野刺つ娘の会)、中村禮子・中村晃子・横井充子(南部菱刺し工房アトリエ縹 HANADA)、山田友子(南部菱刺研究会・つづれや)、大久保直次郎、高橋利典(株式会社八幡馬)、館功(館タテグ工芸)、小坂勝義、在家福治(ザイケ家具工芸)、八戸さき織の会、南部菱刺し 西野刺つ娘の会、南部菱刺し工房アトリエ縹 HANADA

○特集展示「八戸の伝統的ものづくりの可能性」

はっちミュージアムショップカネイリほか、国内のミュージアムショップ運営やウェブサイト「東北 STANDARD」で東北のものづくりや文化を発信している梶金入の金入健雄さんのインタビューをパネルで紹介。

〈関連企画〉

○公開制作

青森県認定伝統工芸士による公開制作を実施。

・実施：(8日)井上澄子、横井充子

(9日)井上澄子、工藤まさ、館功

(10日)井上澄子、中村禮子

○はっちの「ひしざし椅子」インスタレーション

まちぐみのプロジェクトで制作した、はっち館内の「ひしざし椅子」を一堂にあつめて展示し、フォトスポットとした。

○はっちミュージアムショップカネイリへの展示関連ブース設置

館内ミュージアムショップに伝統工芸品コーナーを設置し、展覧会で紹介したつくり手の作品を販売。また、カネイリとコラボしたはっち10周年記念のオリジナル八幡馬を同展に合わせて製作・販売。(限定50個)



南部裂織の明治時代と現代の炬燵掛けを比較展示



作家紹介パネルを見ながら作品を鑑賞できるように展示



公開制作時には常設の館内展示屋台も利用



ひし形に見えるように配置した「ひしざし椅子」のフォトスポット

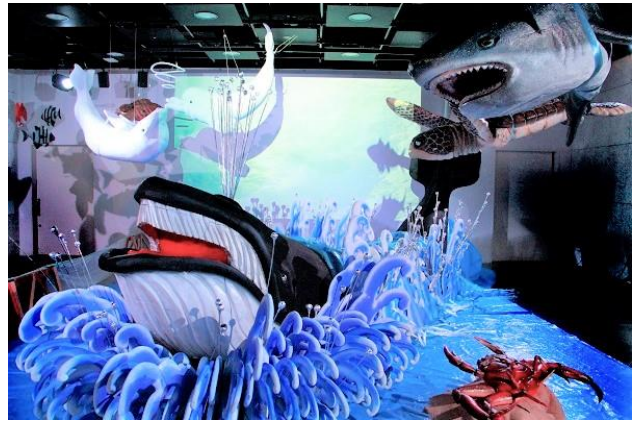


八戸三社大祭連携事業 お祭りinはっち2021

八戸三社大祭は新型コロナウイルス感染防止に伴い、2年連続で山車運行等が中止となったが、応援企画として「お祭りinはっち2021」を実施。2020年度好評だった「山車飾り水族館」をパワーアップして展示したほか、市民のみなさんから募集した思い出写真や思い出エピソード、過去ポスター・うちわ・取材写真を展示する「みんなのお祭り思い出館」を実施。

■お祭りinはっち2021

- ・実施日：2021年7月31日(土)～8月5日(木)
- みんなのお祭り思い出館
公募した八戸三社大祭の思い出写真や思い出エピソード、応援メッセージや山車組からお借りしたポスター、うちわ、2018年～2020年の取材写真を展示。
・協力：はちのへ山車振興会
- 山車飾り水族館
八戸三社大祭で実際に使われた造形物で、水族館のような空間を演出。
・協力：はちのへ山車振興会
- はっち館内クイズラリー
八戸三社大祭に関するクイズ問題を館内各店舗前に掲示し、館内を回遊するクイズラリーを実施。
・参加者：212名
- ミニ山車展示
公募したミニ山車5台を展示。
・実施日：2021年7月31日(土)～8月15日(日)



■【共催企画】パネルディスカッション「祭りをかだれ、祭りにかだれ」～八戸三社大祭、威風と未来～

八戸三社大祭併催事業として「お通り」の時間に合わせ、より深く八戸三社大祭を掘り下げるトークイベントを開催。YouTubeでのライブ配信も行った。

- ・実施日：2021年8月1日(日)
- ・実施：八戸三社大祭運営委員会
- ・出演：石橋元平、ニツ森護真、吉川由美



マチニワで開催されたパネルディスカッション



えんぶり連携事業 えんぶりinはっち2022

毎年2月に開催する「八戸えんぶり」期間中にえんぶり公演や関連企画を実施していたが、新型コロナウイルス感染防止に伴い、2年連続の中止となった。はっちも感染防止に伴い、2022年1月26日から3月21日まで休館となった。開館後、少しでもえんぶりや三社大祭などお祭りの雰囲気を感じられるよう、えんぶり期間中に開催予定であった「三浦福壽仕事展」を開催。イラスト作品だけでなく、三浦氏が携わった出版物や地元タウン誌・広報誌等の貴重な作品の展示を実施。

■三浦福壽仕事展

- 三浦福壽氏が携わった作品など約40点を展示。
- ・実施日：2022年3月22日(火)～27日(日)
- ・協力：三浦勝恵
- ・入場者：約560名



三浦福壽氏のイラストなどが載っている新聞記事や冊子



ライブラリ事業

2021年4月より2階の本棚展示を終了し、現在は3階と4階に本棚を設置。本棚を4階のリビングに集約することによりライブラリスペースとして充実させた。「誰でも気軽に手にとって楽しめる・読める」というコンセプトに重点を置き、アートや文化、当市にゆかりのある方の書籍はもちろん、さまざまなジャンルの雑誌を配架するなど来館者にとって利用しやすいライブラリとして展開している。今年度は4階で実施していた月例企画を1階へ移し、より本に触れてもらう機会を創出。



■Book！ブック！こんにちは

「南部裂織&押し花でオリジナルしおりを作ろう♪」

南部裂織は好きな織布とリボン、押し花は好きな花と台紙の形を選び、自由な配置でオリジナルのしおりを制作。2021年9月26日(日)「本のまち八戸ブックフェス・ミニ2021」に実施予定だったが、中止となったため2021年11月20日(土)・21日(日)開催の「ものスタマーケット in はっち」と同時開催とした。

- ・実施日：2021年11月20日(土)
- ・講師：工房「澄」、アトリエ小さな花
- ・参加者：南部裂織11名、押し花53名
- ・料金：南部裂織300円、押し花無料

■各フロアのライブラリテーマ(通年)

- 3階：地元の文学者を知る・深める
- 4階：八戸を知る・日本を知る、アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌

■1階ライブラリの月例特集テーマ

- 4月 八戸・伝統・現代 伝統文化
- 5月 “気になる”を見つけよう
- 6月 スポーツ・体づくり
- 7月 三浦哲郎(八戸ブックセンター企画連動)
- 8月 八戸の祭り
- 9月 秋の旬レシピ
- 10月 読書の秋
- 11月 写真家・浅田政志(八戸美術館企画連動)
- 12月 新刊紹介と高森美由紀
(八戸ブックセンター企画連動)
- 1月 手しごと・クラフト
- 3月 癒し

※11月と12月は4階ライブラリに特設コーナーを設け実施

※2月は新型コロナウイルス感染防止に伴い臨時休館のため中止



観葉植物で癒し空間を演出した読書サロン



自分だけのしおり作りに夢中♪



1階に移動式の月例特集棚を設置



ものづくりスタジオ支援事業

ものづくりスタジオ入居者支援のため、ものづくりスタジオを広く紹介するチラシの制作や館内表示などを活用した広報活動を行うとともに、イベントへの臨時出店を行った。

■ものづくりスタジオ夏休み企画「ものスタわくわくワークショップ」

4階ものスタ入居者が、夏休み期間中の親子を対象としたものづくり体験を実施。

- ・実施日：2021年8月8日(日・祝)
- ・出店：おもちゃハウスくれよん、工房「澄」、箱庭 Ayu、モザイクスタイル
- ・同時開催：まちぐみクリエイティビティ部マーケット
- ・ワークショップ参加者：73名(4店舗合計)
- ・料金：300円～

■ものスタマーケット

ものスタの現在の入居者と卒業店舗によるマーケットイベントを実施。

- ・実施日：2021年11月20日(土)～21日(日)
- ・出店：おもちゃハウスくれよん、工房「澄」、箱庭 Ayu、モザイクスタイル、かわいいアロマひつじや、漆/jewelry 工房 LANDPROTECT、里山夢食堂、つづれや
- ・連携出店：まちぐみクリエイティビティ部
- ・ワークショップ参加者：72名(3店舗合計)
- ・共催：特定非営利活動法人はちのへ未来ネット

■ものスタプチマーケット

ものスタ入居店舗と卒業店舗の商品販売を実施。

- ・実施日：2022年3月26日(土)～27日(日)
- ・出店：おもちゃハウスくれよん、工房「澄」、モザイクスタイル、つづれや、CAPRICE、かわいいアロマひつじや、箱庭 Ayu



伝統工芸の南部裂織を初体験！



来場者・店主ともに久々の再会に喜ぶ場面も



入居者を対象に POP についてのオンライン勉強会を実施

2021年度 ものづくりスタジオ

| |
|------------------------------------|
| フード |
| Rit. (自家製生パスタ) |
| CHEESE DAY (熟成チーズ専門店) |
| たまに庵 (かけうどん・かけそば) |
| very berry + (フレッシュジュース) |
| クラフト |
| 工房「澄」 (八戸南部裂織) |
| モザイクスタイル (クラフトタイル) |
| おもちゃハウスくれよん (手づくりおもちゃ) |
| 箱庭Ayu (ハーバリウムと雑貨) 2021年11月退去 |
| 鳴音スタジオ (映像制作) 2021年7月退去 |



Rit.

地域食材を使用した
自家製パスタのお店



CHEESE DAY

さまざまな世界の熟成チーズで
新しい味との出会いをお手伝い



たまに庵

さっと来て、リーズナブルに
食べられる



very berry +

健康と美容を考えたフレッシュ
ジュースやスイーツが楽しめる



工房「澄」

伝統技法「地機織り」にこだわった
南部裂織グッズの製作・販売



モザイクスタイル

暮らしにアートをデザインする
インテリアパネルの製作・販売



おもちゃハウスくれよん

赤ちゃんが安心して使える
布製や木製のおもちゃを販売



箱庭Ayu

心地よい癒しの空間で
ハーバリウム体験や購入が可能



鳴音スタジオ

PR 動画やメモリアル動画など
映像・音楽制作が依頼できる

2021年度 はっちの自主事業

(2021年4月～2022年3月)

| 区分 | 事業名 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 12月 | | R3年1月 | | 2月 | | 3月 | | |
|---------------------------------------------|-------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|----|----|----|----|--|
| | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | |
| はっち な が り ま ま さ い ん | 1) まちぐみ事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) 情報発信 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) A/R事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) パワーミーティング自主事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5) シーズンイベント | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6) 市民活動支援事業 ① 投げ銭ライブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7) 暮らし学アカデミー事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8) 手しごと展 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9) お祭り連動事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10) ライブライブリー事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マチニワ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マチニワ実施事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

はっちの年表

| | | |
|-------|-----|-------------------------------------------|
| 2006年 | 9月 | 基本構想策定 |
| 2007年 | 6月 | 基本計画策定 |
| 2007年 | 10月 | 基本設計策定 |
| 2008年 | 6月 | プレ事業スタート |
| | 12月 | 設計変更 |
| 2009年 | 4月 | 着工 |
| | 8月 | 愛称「はっち」に決定 |
| 2010年 | 3月 | 正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定 |
| 2011年 | 2月 | はっち開館(2月11日) |
| | 3月 | 東日本大震災により臨時避難所として運営(3月11日) |
| | | 照明学会 照明普及賞受賞 |
| | | 来館者数161,377人(3月31日) |
| | 7月 | 八戸レビュー販売 |
| | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前24%増 中心街全体13%増 |
| 2012年 | 2月 | 開館から1年目の来館者 888,888人(2月11日) |
| | 3月 | 来館者数100万人達成(3月27日) |
| | | 来館者数1,011,916人(3月31日) |
| | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前89%増 中心街全体33%増 |
| | | グッドデザイン賞受賞(八戸レビュー) |
| 2013年 | 3月 | 来館者数1,900,046人(3月31日) |
| | 5月 | 来館者数200万人達成(5月15日) |
| | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前101%増 中心街全体24%増 |
| | | グッドデザイン賞受賞(市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト) |
| | | 第33回東北建築賞受賞 |
| | | 「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞 |
| 2014年 | 3月 | 来館者数2,863,293人(3月31日) |
| | | 文化庁長官表彰受賞(文化芸術創造都市部門) |
| | 4月 | マチニワ基本構想策定 |
| | 5月 | 来館者数300万人達成(5月30日) |
| | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前109%増 中心街全体35%増 |
| | | マチニワ活用アイデアコンペ公開プレゼン開催 |
| | 11月 | 第43回デーリー東北賞受賞 |
| 2015年 | 3月 | 来館者数3,846,458人(3月31日) |
| | | マチニワ整備基本計画策定 |
| | 6月 | 来館者数400万人達成(6月2日) |
| | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前82%増 中心街全体19%増 |

| | | |
|-------|-----|-----------------------------------------------|
| | 11月 | KIBOW 年次大会2015準優勝(まちぐみ) |
| 2016年 | 3月 | 来館者数4,791,861人(3月31日) |
| | 4月 | 第8回ふるさとあおもり景観賞地域づくり活動部門最優秀賞受賞(まちぐみ) |
| | 6月 | 来館者数500万人達成(6月28日) |
| | | 地域創造大賞(総務大臣賞)受賞 |
| 2017年 | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前60%増 中心街全体9%増 |
| | 3月 | 来館者数5,735,200人(3月31日) |
| | | マチニワ着工 |
| | 7月 | 来館者数600万人達成(7月18日) |
| 2018年 | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前91%増 中心街全体33%増 |
| | 3月 | 来館者数6,670,219人(3月31日) |
| | 7月 | マチニワ竣工 |
| | 7月 | マチニワオープン(7月21日) |
| | 8月 | 来館者数700万人達成(8月10日) |
| 2019年 | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前59%増 中心街全体22%増 |
| | 11月 | 全映協グランプリ2018 CM キャンペーン部門優秀賞受賞 (88異国プロジェクト) |
| 2019年 | 1月 | 第9回地域再生大賞 北海道・東北ブロック賞受賞(まちぐみ) |
| | 3月 | 来館者数7,544,229人(3月31日) |
| 2020年 | 10月 | 来館者数800万人達成(10月10日) |
| | | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前57%増 中心街全体12%増 |
| 2020年 | 3月 | 来館者数8,359,783人(3月31日) |
| | 10月 | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前22%増 中心街全体7%減 |
| 2021年 | 3月 | 来館者数8,888,888人達成(3月19日) |
| | | 来館者数8,912,342人(3月31日) |
| | 5月 | 来館者数900万人達成(5月29日) |
| 2021年 | 10月 | あしたのまち・くらしづくり活動賞 総務大臣賞受賞(まちぐみ) |
| | | 中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前51%増 中心街全体14%減 |
| 2022年 | 3月 | 来館者数9,399,420人(3月31日) |



2021.4－2022.3
八戸ポータルミュージアム はっち の歩み

発行日 令和4年(2022年) 7月
発行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】
〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
TEL 0178-22-8228
FAX 0178-22-8808
<https://hacchi.jp>
